

2026年度 予算のお知らせ

去る2月24日に開催されました組合会において、2026年度予算および事業計画が承認されましたので、その概要をお知らせします。

2026年度 武田薬品健康保険組合活動方針

- 保険者機能の強化**
- ◆加入者のセーフティネットとして、生活の安定に貢献する(保険給付)
 - ◆加入者の健康の保持増進に寄与する(保健事業)

強化項目

- ①武田薬品健康保険組合の発信力を強化する
- ②保健事業を強化し充実させる
- ③データ分析を強化することで加入者に還元する
- ④デジタル化によって健保運営を革新させる



「②保健事業を強化して充実させる」のなかでもとくに…
「第3期データヘルス計画」の推進

- 健診・がん検診および精検の受診勧奨を推進
- データ分析ツールにより、保健事業の評価・改善を推進
- 厚生労働省が実施する「保険者機能の総合評価」での上位100組合、「予防・健康づくり推進優良組合」の認定・表彰を目指す
- 健康レポートを用いた各事業所との協業推進
加入者との双方向コミュニケーション環境の整備
- 加入者ポータルサイト(MY HEALTH WEB)の加入者申請機能の運用開始し、加入者の利便性の向上と業務の効率化をはかる

一般勘定

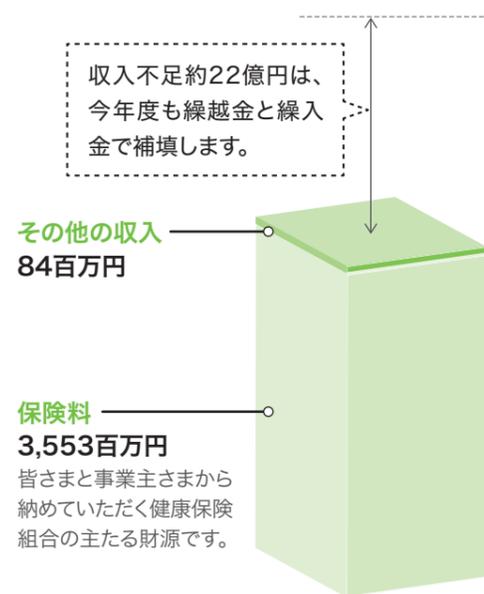
2026年度予算

予算総額 60億1,300万円

一般勘定基礎数値

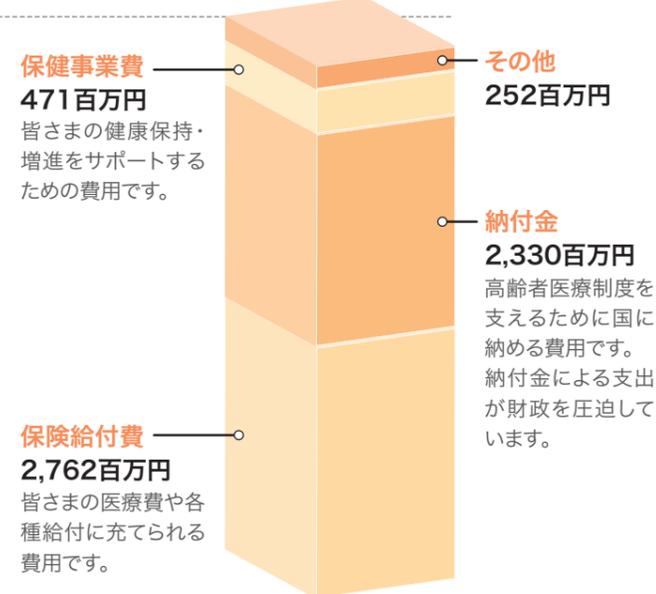
被保険者数 5,500人
保険料率 6.00%

◆経常収入



経常収入合計 36億3,700万円

◆経常支出



経常支出合計 58億1,500万円

みなさんから納めていただいている健康保険料は健康保険組合を運営する主な財源です。健康保険料は、みなさんが病院にかかったときの医療費などに使われる「基本保険料」、高齢者医療制度等への支援金に使われる「特定保険料」、健康保険組合間の高額医療費の共同負担事業等に使われる「調整保険料」の3つで成り立っています。健康保険料の内訳を決める各保険料率の直近5年間の推移を見てみると、少子高齢化の進行や高齢者医療費の増加を背景に、高齢者医療を支える「特定保険料率」の割合が年々高まっていることがわかります。



介護勘定

2026年度実績見込み

介護勘定基礎数値 保険料率 1.61%

介護保険の予算

健康保険組合は、40歳から64歳の被保険者から介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納める徴収事務のみを行っています。厚生労働省から提示された「参考料率」を採用し、保険料率は1.61%に改定します。(2025年度の保険料率は1.64%)

◆収入

科目	予算額(百万円)
介護保険収入	713
その他	100
合計	813

◆支出

科目	予算額(百万円)
介護納付金	720
その他	51
予備費	42
合計	813

子ども勘定

2026年度実績見込み

子ども勘定基礎数値 子ども・子育て支援金率 0.23%

◆収入

科目	予算額(百万円)
子ども・子育て支援金収入	140
一般勘定受入	1
合計	141

◆支出

科目	予算額(百万円)
子ども・子育て支援金納付金	125
子ども・子育て支援金還付金	1
積立金	11
予備費	4
合計	141

公告

規約の一部変更について

子ども・子育て支援金制度創設に伴い、規約を一部改訂いたします。(2026年4月1日から適用)

保険料率の改定について

子ども・子育て支援金制度の創設により、健康保険料・介護保険料に加え、子ども支援金を徴収することになりました。2026年度の子ども・子育て支援金率は0.23%(労使折半)となります。

任意継続被保険者の2026年度標準報酬月額(上限)について

健康保険法第47条第2号に定める2025年9月30日現在の全被保険者の標準報酬月額の平均額(694,644円)の該当する標準報酬等級区分となり、2026年4月分保険料から適用になります。

保険料の計算基礎となるのは、在職時の標準報酬月額と右記の標準報酬月額(上限)のいずれか低いほうとなり、現在、任意継続被保険者の方で、退職前の標準報酬月額が68万円以上の方も右記の標準報酬月額が適用になります。

*上記以外の公告については、武田薬品健保ホームページをご覧ください。

標準報酬	
等級	月額
36等級	680,000円

*2025年度と同じ等級です